



～ 新年のご挨拶 ～

皆様、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は7月の九州北部豪雨、9月の台風災害と大分県は災害に見舞われた一年でした。地球は確実に暖かくなっています。温度が上がり氷や雪が解け、水蒸気の量が増えれば雨の量が増えるのは道理です。

とはいえ、3月には九重”夢”大吊橋の来場者が1000万人を超え、4月にはうみたまご入館者が1100万人を突破しました。とりわけ、2019年のラグビーワールドカップでニュージーランド、オーストラリア、ウェールズといった強豪国の試合を始め、計5試合が大分で開催されることは大変喜ばしく誇らしいことです。今年は世界中の方と温暖化対策やスポーツを通じて触れ合い共感しあうスタートの年です。

皆様とご家族のこの1年のご多幸をお祈りしつつ、これまで同様変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2017年11月08日 両院議員総会を開催、新役員を承認

民進党が3分裂し、新代表に大塚耕平氏が選出され私は政務調査会長を拝命しました。立法府としての議員の役割は「共感の輪を広げる」ことだと思っています。正しい、誤っている、とすべての人が一致することはありませんから、皆さんが望む内容の最大公約数を探ることが重要です。そのために現場からの問題点の抽出、原因の分析、解決策の検討、案文の作成、過半数の獲得、施行後の監視…と続きます。現場からの問題点の抽出がスタートなのです。ですから後援会や支援団体からの様々な意見や地方議員の存在が極めて重要です。以前、我が党では政策調査会長でしたが今は政務調査会長です。個人や業態ごとのお付き合いの中からしか本当のことはわかりません。頭でっかちではだめです。

法案を成立させるにも、反対を貫き通すにも、汗をかき共感を得ることしかありません。その為我々は政党を作り、衆議院・参議院連動して一体的に取り組みます。衆議院議員が政党を名乗れない政党は意味がありません。この新聞が皆さまのところに届く頃には民進党は進路を定められているでしょうか。衆参一体の取り組みができる政党への脱皮が始まっていることを期待しつつ、その責任の一端を私も担っていることを肝に銘じたいと思います。

足立信也

2017年後期 写真で振り返る大分での活動

8月



大分県税理士政治連盟第41回定期大会 (大分市)



自動車総連大分地方協議会第12回幹事会 (大分市)

9月



大分県教職員組合70周年記念式典・レセプション (大分市)

10月



第2回竹中公民館まつり (大分市)



基幹労連大分県本部第15回定期大会 (大分市)



UAゼンセン大分県支部第6回定期総会・レセプション (別府市)

11月



大野川合戦まつり (大分市)



第47回大分県技能祭 (大分市)



大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業着港式典 (大分市)



社会保険労務士との意見交換会 (大分市)



自治労全国一般評議会医療部会 講演 (大分市)

12月



連合大分南西地域協議会第4回定期大会 (臼杵市)

2017年後期 東京での活動 (一部抜粋)

厚生労働委員会 旅館業法 12月7日(木)

参議院厚生労働委員会で「旅館業法の一部を改正する法律案」について質問しました。今回の改正は旅館とホテルの区別をなくすことです。しかし「国際観光ホテル整備法」には定義が残っており、同じ旅館、ホテル営業について定めた法律の定義が異なることを指摘し、厚生労働省から回答を得られず委員会は一時中断しましたが、観光庁より「今後対応する」との答弁を得ることができました。2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピック時の冷房設備の義務付けの必要性、厚生年金基金の解散後の分配金の確定遅延の具対策、救急ワークステーションの研修費の財政措置等も質問し、全会一致で可決、違法民泊の規制強化等付帯決議も可決されました。



8月1日 大分市の「ワークステーション」運用1年の視察

第10回政策フォーラム 人口減少と社会保障 12月14日(木) ホテルニューオータニ



前内閣官房まち・ひと・しごと創生本部総括官で『人口減少と社会保障』の著者でもある山崎史郎さんをお招きし、人口減少の現状と社会へ与える影響、保険に偏る日本の社会保障制度の問題点、財政・税制も含めた国民的な議論と合意形成の必要性についてお話しいただきました。ご参加の皆様から活発なご質問もあり、社会保障には地域の再生が不可欠なこと、社会保障と税の一体改革、地域医療の今後などについて話しました。



NHK「日曜討論」に出演

【番組名】日曜討論

【放送日時】11月26日(日)

【主な内容】○国会での本格論戦にどう臨む
○内外の重要課題について